

箕輪中学校 箕輪学

箕輪町の人に 歌を届けたい



10月4日 金

場所

福沢製作所

長野県上伊那郡箕輪町大字東箕輪 423 番地 3

TEL 0265-79-3293

時間

15時～15時30分

出演

箕輪中学校3年生
(指導：北澤嶺美先生)

カナデルトリオ from 奏の森
(SAX 太田裕士・歌 福澤歩・ピアノ 杉浦歩実)



箕輪学とは??

箕輪町の教育大綱の「地域への愛着と誇りを育てる教育の推進」として位置付けられており、町内全小中学校の教育課程に定められ、生活科（小学1・2年）や総合的な学習の時間（小学4年～中学3年まで）の中で学んでいます。小学校ではふるさと学習として、地域へ出て地域に学ぶことを、中学校では、職場体験を含め、地域の人に学ぶこと、地域の一員として地域貢献する、また箕輪町の未来を考えるなど、学級やグループで探究したいテーマを決め、活動しています。

太田裕士



6歳よりピアノ、16歳よりアルトサックスを始め

慶應義塾大学ジャズ研所属中よりプロとして活動を始める。太田市大学ビッグバンドコンテストでは優秀ソリスト賞を受賞。都内ライブハウスの他、国内ツアーやドイツ・ベルリンへの演奏旅行などを行う。30歳で地元である宮田村に戻り、ジャズのみならず、ジャンルの垣根を超えたオリジナルな音楽活動を展開。自身のオリジナルCD「虹の中へ」の他、様々なアーティストのCDやステージに参加。杉浦歩実「アンバマイカ」「天竜峡 水の旅路」「だれも知らないみつばらのものがたり」「森の冒険ミュージカル」「杵原学校」などの作品では音楽担当として作、編曲、楽曲提供などを行う。カナデル幸響楽団ではサックス、アレンジなど

福澤 歩



歌唱歴 25 年。小学生の時に始めた合唱に大きな影響を受け、目に見えないものやエネルギー、氣へ思いを寄せ、伊那谷の自然の中で幼い頃から想うままにメロディーを口ずさみながら育つ。2009年コンテストに出場。初出場ながら準グランプリを受賞。合唱・声楽の経験から得た歌唱力とコーラスワークには同業ミュージシャンからも高い評価を得ており、教会・神社仏閣・美術館・森・ヒーリングイベントといった空間を含めた響命、魂に響く歌声と心に染みる普遍的なメッセージは「生きていていいと思えた」「涙が出た」「浄化された」…など 現代を生きる人に癒しと感動の声が上がっている。アルバム 4 枚リリースの他、小学校、保育園の授業、ミュージカルや長野県伊那文化会館プラネタリウムテーマ曲、アースデーテーマ曲などでも楽曲提供する。他出演 NHK 長野放送局テレビ・FM ラジオなど。

杉浦歩実



小学生の頃ピアノを始める。KAWAI ピアノコンクール、県大会優勝。2008年飯田市に事業立案し、賛同した同市の企業人や明治大学教授らと共に NPO 法人 F.O.P 設立。同年 NPO 法人 F.O.P 代表理事就任する。音楽と農業を融合した野外フェスの開催、アースデーなど千人規模のイベントプロデュースから、農林業・文化芸術のワークショップなどの企画、デザイン、映像、音楽、舞台制作、子供、社会人向けの環境社会教育プログラム企画など活動は多岐に渡る。AI 時代だからこそ、『感じること』『自分らしく表現すること』ができる文化芸術の重要性も伝え、社会活動や環境活動などに音楽、アートの力を活かし、難しい問題を解決するきっかけをつくっている。現在は、2018年より中川村にて荒れた森を整備し、子供から大人まで様々な人たちと共に、畑しごとにしごと『生きる力』を育み、奏で合い、暮らしを創る「奏の森」をミンナデビルド中。

(有) 福沢製作所



会長が生まれた昭和 30 年、手づくりの菓子、生鮮食品、日用雑貨、文房具を扱う「福屋商店」を営む。時代の変化と共に、地域の雇用の場を作りたいという想いで、親戚から旋盤、ボール盤などを譲り受け、町工場としてスタート。

60 周年に SDGs の講習会を始め、安全衛生 社会貢献チームが国の支援を活用した社員研修を取り入れながら、それぞれの視点から SDGs 達成に向けた具体的な取組を『自分ごと』として捉え、検討を重ね、長野県 SDGs 推進企業に登録される。他、健康経営優良法人にも認定、学生の社会学習の受入れなど、地域づくりは人づくりとして社内環境を健全に保ち、地域社会、地球環境に貢献する。